

29

化政文化と天保の改革



① 1804~1818の元号
 ② 1818~1831の元号
 →資料集の年表で確認

解答欄

A 化政文化(1) - 特色

1 時期 家斉の ①・② 時代が中心(18世紀末→19世紀前半)。

2 特色 江戸中心、都市に生活する中下層町人の活力にささえられた庶民文化。洒落や通を好み、野暮を嫌う刹那的・享樂的性格が強い。内容は多様化・複雑化し、地方都市へも普及。

「今が楽しければいいや」的思考

B 化政文化(2) - 文芸・美術

資料集p.204~207で作品名・図版などもチェックしておくこと!!

1 小説

① ③ …恋愛もの。為永春水『春色梅児誉美』。

② ④ …黄表紙を数冊あつめた通俗小説。

柳亭種彦『偽紫田舎源氏』。

天保の改革で弾圧。

家斉時代の大典をモチーフにしていた

③ 読本…曲亭(滝沢)馬琴『南総里見八犬伝』。

④ ⑤ …庶民生活をユーモアをまじえて描く。式亭三馬・十返舎一九ら。

2 和歌・その他

① 和歌…国学者が中心。村田春海・良寛ら。

② 俳諧…⑥ (人間味ある作風、代表作『おらが春』)。

③ 狂歌…⑦ (蜀山人・四方赤良)・石川雅望(宿屋飯盛)ら。

④ 歌舞伎・狂言の脚本では⑧ (「東海道四谷怪談」、河竹黙阿弥が人気。

紀行文『菅江真澄遊覧記』、随筆『北越雪譜』(鈴木牧之)など。

夫に毒殺されて顔面崩壊した「お岩さん」が化けて出る、怪談の定番

3 浮世絵 庶民の旅行ブームを背景に風景版画が人気を集める。

⑨ (「東海道五十三次」)、⑩ (「富嶽三十六景」)。

4 文人画(南画) 技巧にとらわれず、主観的傾向。

渡辺華山「鷹見泉石像」・田能村竹田・谷文兆ら。

C 洋学の発展

1 文化・文政期

① 幕府が⑪ (1811年)を設置→のちの蕃書調所。

② ⑫ が長崎に⑬ 塾をひらく。帰国時にシーボルト事件発生。

2 幕末期 ⑭ が大坂に適塾(適々齋塾)をひらく。福沢諭吉、橋本佐内、大村益次郎など幕末・維新期の指導者を輩出。

3 その他の洋学者と業績

宇田川榕庵	化学	舎密開宗	⑮	地理学	大日本沿海輿地図
志筑忠雄	天文学	曆象新書	⑯	冶金学	韮山反射炉

1

2

3

4

5

稽

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

センター過去問に
チャレンジ! 解答

問1 正解は①。I—貞享暦は1685年。渋川春海(安井算哲)による日本最初の暦法である。II—1740年。享保の改革を推進した徳川吉宗は、青木昆陽と野呂元丈にオランダ語を学ぶことを命じた。III—1792年。幕府の海防政策を批判した林子平の『海国兵談』は、幕府により絶版とされた。よって、I→II→III。

問2 正解は③。①松平定信は火付盗賊改方・長谷川平蔵の建議を入れて江戸湾の石川島に人足寄場を設置。無宿人や軽犯罪者に職業訓練を行い、更生・教化をめざした。②調所広郷が藩政改革を行ったのは19世紀前半。④織物業におけるマニファクチュアは大坂周辺や尾張など一部の地域で見られたが、全国的に展開したとまでは言えない。

センター過去問に
チャレンジ!

問1 近世における海外の学術・情報に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。(' 14 本追 AB)

I 渋川春海(安井算哲)が、貞享暦をつくり、幕府の天文方をつとめた。

II 将軍徳川吉宗が、青木昆陽にオランダ語を学ばせた。

III 林子平が、『海国兵談』を出版し、幕府に処罰された。

① I—II—III ② I—III—II ③ II—I—III

④ II—III—I ⑤ III—I—II ⑥ III—II—I

問2 18世紀前半の政治・社会状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

(' 14 本追 AB)

① 江戸では無宿人が増加したため、幕府は、小石川に人足寄場を設けて彼らを収容し、治安の維持を図った。

② 各藩では、財政状況の悪化を打開するために藩政改革を行ったが、その代表的な例として、調所広郷による薩摩藩の改革がある。

③ 諸物価の中で、米価が相対的に安くなり、俸禄米ほうろくを売って生活する武士は、ますます困窮した。

④ 織物業では、分業と協業によるマニファクチュア経営が全国的に展開しつつあった。

D 天保の改革

1 時期 12代将軍 17 の時(1841~43年)。老中 18 が政治を担当。

2 施策

当時、初物を食べると寿命が延びるとされた

① 風俗取締り・土風刷新・儉約令…人情本作家の 19、合巻作家の 20

を処罰。さらに初物を禁止し、文武を奨励。

史料 176

② 株仲間の解散…仲間外の新興商人らによる自由な取引を保障し、物価の引き下げを期待→物流の混乱を招き、かえって物価高に。

③ 21 (1843年)…農民の出稼ぎを禁止し、農村人口の確保と農村復興をめざす。

【株仲間への対応】吉宗：公認→田沼：奨励→水野：解散

④ 三方領知替え…川越・長岡・庄内藩に対する転封命令。

大名の反対や庄内藩領民による大規模一揆勃発で撤回。

幕府の威信が大きく低下

史料 178

幕府が転封命令を撤回したのは初めてだった

⑤ 22 令(1843年)…江戸・大坂周辺の地を幕府の直轄

地とし、その地の大名らの転封を計画。反対強く中止。

⑥ その他…印旛沼の干拓計画、洋式砲術(高島秋帆)の採用。

幕府の増収と対外防備強化を狙った。史料 179

3 結果 大名や旗本らの反対にあい、水野忠邦が失脚→幕府権力の衰退をまねく。

E 幕末の藩政改革

以下の3藩について資料集p.203 2の表を読んでおくこと。

1 薩摩藩 藩主の島津重豪のもと、23 が推進。借財の整理、24 との密貿易、砂糖の専売制の強化で財政を再建。島津斉彬は洋式工場群「集成館」を建設。

2 長州藩 藩主の毛利敬親のもと、25 が推進。26 の設置で財政を再建。

3 肥前(佐賀)藩 藩主の鍋島直正が中心になって改革を断行。

① 財政安定…本百姓体制の再建のため 27 を採用。有田焼を保護。

② 軍制改革…反射炉をつくり 28 を設ける。

図版確認→資料集p.203 2

4 結果 西南雄藩の藩権力が強化され、幕政への発言力を強める。

資料集p.203 1 問屋制家内工業との違いをしっかりと理解しておく。

F 近代工業の形成

1 工業生産 家内手工業→問屋制家内工業→29 (工場制手工業)。

綿織物業・絹織物業・醸造業などで発達→分業と協業。

2 幕府・諸藩の洋式工場 幕府…伊豆 韮山反射炉・横須賀製鉄所(造船所)、水戸藩…石川島造船所(江戸)

図版確認→資料集p.203 2

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

G 封建制への批判

解答欄

1 儒者の経世論

- ① 武士の帰農・土着論… 30 (荻生徂徠) など。
- ② 藩営商業・藩専売… 31 (太宰春台) ・ 32 (海保青陵)。

2 尊王思想

- ① 33 事件(1758年) ・ 34 事件(1767年) 事件で竹内式部・山県大弐らが処罰された。
- ② 『大日本史』編さん作業のなかでうまれた水戸学の尊王思想が、幕末に排外思想と結びつき、尊王攘夷運動へ発展。

3 社会批判

- ① 35 …『自然真営道』で万人直耕の自然世を理想とする。 ← 史料124
- ② 36 …『夢の代』で合理主義(無鬼論)を展開。
- ③ 37 …『西域物語』で積極的な貿易振興策を提唱。
- ④ 38 …『農政本論』で農業による富国策を、『宇内混同秘策』『経済要録』で統一国家形成の必要性や重商主義政策の採用を論じた。
- ⑤ 39 …『海国兵談』『三国通覧図説』で幕府の海防策を批判→弾圧。

よく出る 史料125 のち幕府により発禁処分になったが、その直後に蝦夷地の根室にロシア船が来航した。

センターに出た！日本史用語(過去10年間)

*は直近3年出題

海国兵談(3*), 林子平(3*), 長州藩(3*), 水野忠邦(3*), シーボルト(3*), 鈴木牧之(2), 福沢諭吉(2), 攘夷運動(2), 北越雪譜(2), 小林一茶(2), 蛮書和解御用(2), 尊王攘夷運動(2), 大村益次郎(2*), 鳴滝塾(2*), 一茶(2), 適塾(2*), 天保の改革(2*), 為永春水(2), 緒方洪庵(*), 志筑忠雄, 調所広郷, 本多利明(*), 高島秋帆(*), 鶴屋南北, 綿織物業(*), 蕃書調所, 曆象新書, 風景版画, マニユファクチュア(*), 南総里見八犬伝(*), 山県大弐(*), 竹内式部(*), 徳川家慶, 十返舎一九, 領知, 滑稽本, 狂歌, 雄藩, 政談, 経済録, 上知令, 夢の代(*), 均田制(*), 合巻(*), 柳亭種彦, 化政文化, 庄内藩, 反射炉(*)

<~'18 追>